

ア系指示詞の性質

－観念指示用法と現場指示性との関係から－

堀内 萌

キーワード：ア系指示詞、観念指示用法、文脈指示用法、現場指示性

1. はじめに

日本語の指示詞（コ系指示詞・ソ系指示詞・ア系指示詞）の選択に関しては既に様々な議論が行われている。指示詞の用法は大きく現場指示と文脈指示に分類するのが一般的である。現場指示用法において、話し手から（物理的・心理的に）近いものをコ系指示詞、遠いものをア系指示詞で示し、文脈指示においてもこの性質が保持されると考えられるが、ア系指示詞には文脈指示用法が存在せず、「話し手・聞き手双方の出来事記憶中に存在する事物を指示（吉本 1992）」する「観念指示用法」をア系指示詞の基本的用法と主張する研究も多い。

コ系指示詞の基本的用法は現場指示であり、文脈指示用法であってもコ系指示詞は現場指示の性質（現場指示性）を保持するが、ソ系指示詞では現場指示性は弱く、文脈指示用法では先行詞は言語文脈で言及されていなければならないと考える。(1)ではコ系指示詞・ソ系指示詞・ア系指示詞が使用されているが、その用法は異なる。

- (1) 多分、と美也子はコーヒーを飲みながら、自分の仮説をひとつに束ねてゆく。旭川支店は、その管轄に美也子を置き、店長には、この旭川に近い名寄市出身の彼女を抜擢するつもりに違いない。彼女は竹代と同じく、もとはバッグのデザイナーだったのが、店頭で立ち働くほうがおもしろいと、竹代に申しでてきた。あの意欲とやり手ぶりは、そう遠くない将来、必ず五丁目店の店長とやり合うことになるだろう。そうなってからでは遅い。 藤堂 志津子 恋人よ

(1)の「その管轄」は直前の「旭川支店」を受け文脈指示用法で使用されるのに対し、「この旭川」には先行詞は存在せず、話し手がいる場所を直接指し示す現場指示用法である。それでは「あの意欲とやり手」の「アノ」が指示するのは何であろうか。

ソ系指示詞の基本的用法が文脈指示用法であり、コ系指示詞の基本的用法は現場指示用法であるとするならば、ア系指示詞も現場指示用法から派生したと考え、ア系指示詞の性質を現場指示性の観点から会話文・物語文（特に連体修飾文に修飾されるア系指示詞に注目する）の用例から検証していく。

1.1 現場指示性とは

金水・田窪（1992）の「視点遊離のコ」や吉本（1992）の「想像の中の現場指示」の指摘の通り、コ系指示詞は物語を語る時に現場指示用法のように振る舞うことがある。

- (2) a. 昨日、山田君とケーキを食べた。そのケーキは美味しかった。
b. 昨日、山田君とケーキを食べた。このケーキは美味しかった。

ソ系指示詞と比べると、(2b)のようにコ系指示詞では「昨日食べたケーキ」を目の前に思い浮かべているような効果が現れる。先行研究においてもコ系指示詞には「あたかも対象が眼前に生き生きと存在するような直時的な語感がある（金水 1999）」としているが、ソ系指示詞にはそのような効果は無い。

このことから、コ系指示詞の基本的用法は現場指示であり、文脈指示用法であってもコ系指示詞は現場指示の性質を保持していると考えられる。本稿ではこのようなコ系指示詞の持つ特性を「現場指示性」と呼ぶ。「現場指示性」とは、頭の中で想像した（または活性化している記憶の中に存在する）事物を目の前にあるように指示する性質とする。

2. ア系指示詞に関する先行研究

2 節ではア系指示詞に関する先行研究を、①話し手・聞き手の指示対象への知識、②文脈指示用法と観念指示用法の関係、③ア系指示詞のとり先行詞、の 3 点を中心にまとめる。

2.1 話し手・聞き手の知識

多くの先行研究ではア系指示詞の指示対象については「話し手と聞き手が両方知っているものである」という説明が与えられることが多い。

- (3) ほら、あの本に出てた例の問題さ、あいつが試験に出ちゃってね
(4) そういえばあの人、このごろ見えないね

(森田 1980)

(3) の「あの本」「あいつ」、(4) の「あの人」は聞き手がそれらの指示対象に対して知識がある場合にしか使えず、また当然話し手もそれらに対しての知識を持っていることが前提となり、両者共通の場にいるという意識から使用されると考えられているが、金水（1999）や春木（1991）では聞き手に知識があるかないかではなく話し

手が「聞き手が当然知っている物」と認識している物を指示するとしている。

話し手・聞き手ともに認識出来る（と話し手が考える）知識を指示するということは、話し手にとって活性化されている具体的なイメージを指示出来るため、頭の中でイメージした事物をあたかも眼前にあるように指示する性質である現場指示性に関わりがあると考えられる。

また正保（1981）や金水（1999）によってア系指示詞の文脈指示における用法（観念指示用法）は直示由来であることが指摘され、文脈指示においてもコ系指示詞/ア系指示詞の選択に関しては現場指示における近称と遠称の違いが影響を与えるとされている。

2.2 文脈指示と観念指示

まずア系指示詞の文脈指示用法と観念指示用法についての議論から見ていきたい。正保（1981）ではア系指示詞には文脈指示用法と観念指示用法が存在するとし、文脈指示用法のアはその代名詞の実世界における指示対象について、話し手、聞き手ともによく知っている場合にのみ用いられるとしているが、観念指示用法のアは指示対象に関して、話し手と聞き手の間に共通の理解が成り立っているかを考慮せずに話し手が一方的に強い関心を寄せているものを指し示すことが出来るとしている。しかし、文脈指示におけるア系指示詞/ソ系指示詞の選択については、ソ系指示詞は「先行文脈にのみ基づいて（もしくはそのように見える）指示をする」とし、ア系指示詞は「観念対象指示用法の「ア」からの発展であり指示対象は観念の対象たるイメージの総体である」として先行文脈や先行談話のみに基づいて指示するソ系指示詞の文脈指示とア系指示詞の文脈指示は異なるものとし、文脈指示用法におけるアノは観念指示用法からの発展であることを指摘している。

また堀口（1990）では観念指示用法と文脈指示用法の違いに関して、「観念の中にある事物を指す」点で同様と考えるが、指示対象が文脈に明示されているものを文脈指示であるとし、観念指示は「他にその実態を示すことなく自分の観念の中にある事物を指す」用法としている。

一方でア系指示詞に文脈指示用法は存在しないとする先行研究もある。金水（1999）では、直示¹におけるア系指示詞の領域は、眼前の空間において、コと対立する形で、話し手が直接操作出来ない遠方の空間を指すいわゆる遠称であるとする。文脈指示においては、話し手の出来事記憶中（直示で指示されていた眼前の状況が時間の経過とともに変化し、以前の眼前の状況が出来事記憶に格納される）の場面を領域として焦点化する用法を「記憶指示用法」と呼び、ア系指示詞の文脈照応用法は記憶指示用法であるとする。これは話し手が直接体験した場面でなければ指し示せない。

¹ 金水（1999）は直示を「談話に先立って、言語外世界にあらかじめ存在すると話し手が認める対象を直接指示し、言語的文脈に取り込むこと」と定義している。

春木（1991）でもアノには文脈指示用法はないことを指摘し、現場指示でないアノは、指示対象が頭の中に一つの心的イメージ（**mental representation**）として存在している場合であり、このような用法を「概念指示」と呼んでいる。概念指示とは、先行文脈を受けてある言語表現の代替物として用いられるのではなく、多くの場合、先行文脈を引き金として活性化された記憶・知識の中の要素を指示する用法である。（5）のように指示対象を話し手・聞き手が双方知っている場合にはア系指示詞を使用出来る。

(5) A: 親父の友達に福田という人がいたやろ。あの人にこの仕事頼んだらどうやろ。

B: うん、あの人やったら、できるんと違う。

（春木 1991）

(6) A: 『日本語のすべて』を買おうと思ってるんだけど。

B: その本/あの本はやめたほうがいいよ。『日本語一週間完全マスター』にきなさい。

（春木 1991）

(6) ではソノ・アノが共に使用出来るが、ここでの「その本」は A の発話により言語的に導入された要素を指し、「あの本」は A の発話によって B の記憶・知識の中から呼び出された要素を指すとされる。この場合の「あの本」には、B が「日本語のすべて」という本について知っている特性が付随されているため、(7) のようにどうして買わない方がいいかの説明にすぐ移ることが出来る。

(7) A: 『日本語のすべて』を買おうと思うのですが。

B: いや、その本/あの本はやめたほうがいいよ。何しろ、あの本/?その本の日本語の例には随分おかしなのがあるからね。

（春木 1991）

対話においては原則的に聞き手も指示対象への知識がなければコミュニケーションは成立しないため、「話し手と聞き手がともに指示対象を知っている、共通経験として持っている」といった制約が提案されるが、アノの指示対象は観念的であり話し手の記憶・知識の中から呼び起され活性化された心的イメージを指し示すため、聞き手に指示対象の知識がない (8) のような状況で話し手が概念的イメージを指示対象として優先する場合であってもア系指示詞が使用される。

(8) A: 田中先生が結婚するらしいよ。

B: 田中先生て誰？

A: あんたあの先生知らへんの？

(春木 1991)

(8) では、「あの先生」は話し手 A の記憶・知識の中の概念、イメージと直接結びついていると考えられる。正保 (1981) では周知の名詞として面識がなくても多くの人に知られている人や物を指すのにア系指示詞を使わなければならないとしているが、春木 (1991) では名詞の知名度の問題ではなく A は当然 B も知っているものとして最初の発話で「田中先生」を使用しているが、B が指示対象を知らない場合であっても A の記憶・イメージに結びついているために、その後の発話でも「あの先生」を使用しており、その心的イメージとして思い浮かべている指示対象「田中先生」と B との関係と言語的に確認しているため聞き手にとって指示対象はまだ同定されていないとしている。

(8') A: 田中先生が結婚するらしいよ。

B: 田中先生て誰？

A: あんたあの先生知らへんの？田中先生というのは言語学の先生で、私が習った先生よ。それで、その田中先生がね、今度教え子だった Y さんと結婚するんですって。

(春木 1991)

(8') では田中先生について発話するためにメタ表現の「という」を使用し「田中先生」を文脈指示用法ソノ N で指示し直すことによって指示対象が言語表現レベルで同定され、田中先生について語る事が出来る。

2.3 ア系指示詞と先行詞

続いてア系指示詞のとり先行詞について見ていく (この節では便宜上言語文脈に現れる指示対象を先行詞と呼ぶ)。文脈指示用法は、文脈内に指示対象が現れていることが前提となるが、観念指示用法では先行詞は必ずしも現れるものではないと考える。金水 (1999) は、(11) のように観念指示用法のア系指示詞には先行文脈によって喚起された場面に指示対象が存在することが示されるとしている。

(11) きノウ、山田さんに会いました。あの人、変わった人ですね

(金水 1999)

一方で先行詞を持たない記憶指示用法も存在することを指摘している。

(12) 神戸で食べたあの肉饅頭、おいしかったなあ。

(13) (夫が長年連れ添った妻に) おい、あれを出してくれ

(金水 1999)

(12) のように独り言であったり (13) のように話し手が焦点化した場面を聞き手が容易に推測出来る対話者 (この場合は「長年連れ添った妻」) の会話にア系指示詞が使用される。このような金水 (1999) の指摘からも、ア系指示詞は先行詞が存在する場合と存在しない場合があり、指示対象の表出は必然ではないと考えられる。

2.4 問題点

ア系指示詞の基本的用法は「観念指示」用法であり、ア系指示詞には文脈指示用法が存在しないとする先行研究が多いが、観念指示をア系指示詞のみの用法とするか、コ系指示詞・ア系指示詞に共通する用法とするかは明確にされていない²。日本語の指示詞においては、ソ系指示詞の性質のみがコ系指示詞・ア系指示詞から異質であると考えるのが自然であり、コ系指示詞とア系指示詞の指示のメカニズムは共通する特性を持つものであると仮定し、現場指示性から説明を与えられないか考える。

3. 実例からの検証

3 節では実際の例からア系指示詞の観念指示について検証する。先行研究では会話文内におけるア系指示詞の用法に関する議論が中心となっているが、本稿では会話文・物語文の実例を検証する。先行研究では、会話文におけるア系指示詞の観念指示用法に対しての説明が中心となっており、物語文におけるア系指示詞の観念指示用法の役割については触れられていない。また、物語文の中でも連体修飾文によって修飾されるア系指示詞に注目する。まず会話文内に現れるア系指示詞について見ていく。

3.1 会話文におけるア系指示詞

まず対話 (対談形式) に使用されるア系指示詞の場合はどうであるかを見ていく。

(13) 吉行：「好色五人女」は三百年前だよ。あなた、あの時代だったら、もうとっくに生きてないね。火あぶりかなんかだね。

武田：火あぶりかなあ (笑)。でも、あまり悪いことしてないのに、処

² ア系指示詞を除いた観念指示用法の有無に対して明言しているのは堀口 (1990) 劉 (2015) があげられる。堀口 (1990) では観念指示用法はコ・ソ・アすべてに共通する用法であると指摘しており、劉 (2015) では現場指示用法のみがコ・ソ・アすべてに共通する用法であり、文脈指示用法はコ・ソ系指示詞、観念指示用法はア系指示詞のみの持つ用法としているが、堀口 (1990) 劉 (2015) ともになぜア系指示詞のみが観念指示用法が持つかに対しての明確な説明はされていない。

刑されているのね。

(吉行淳之介・武田百合子「天衣無縫の文章家」)

(13) では、「あの時代」は「三百年前の時代」を示しているが、文脈中で現れていない前提となる知識（三百年前の時代にどのような考え方があったか、当時の風俗など）や知識を含むイメージを指示していると考えられる。

(14) 吉行：この二人の仲は裂きがたいというぐらいの感じだったわけ。そしたらある日情報が入ってきて、武田泰淳という当時の新進作家が、百合子さんの勤めている喫茶店へ行って戸籍謄本を出して求愛した、と。バカな男だ、きっとフラれるに違いない、とみんな大騒ぎでいってるの。ぼくは、そのとき、いや、それは違うな、と思ったんだな。これはきっと泰淳の求愛が通るであろう、ぼくは思ったね。

(中略)

武田：あの人、国民服着たり、お父さんのお下りの古臭い背広を着たりしてね、わたし、漢文の先生かと思った。武田泰淳で知らなかったのよね。

吉行：それは珍しい。もっとも中国文学だからな、あの人は。

武田：痩せててね。

吉行：あの頃、みんな痩せてたよ。栄養がないから。

(吉行淳之介・武田百合子「天衣無縫の文章家」)

(14) では「武田泰淳」を話題にした会話が展開されている。「あの人」は「武田泰淳」を指しているが、ア系指示詞の直前に現れているわけではなく、この場で話題にし、吉行によって説明が与えられることによって具体的なイメージが喚起されている。「武田泰淳」を指している。「あの頃」は具体的には指示されていないが「武田に出会った頃」のイメージが喚起されそれを指示していると考えられる。

(15) 滝川：私は本当にただプレゼンを完璧にこなすことに徹して、あとは願うしかありませんでした。だからこそ「TOKYO」の文字が見えた瞬間、子供のように喜んでしまったんですけど。

小谷：滝川さんってクールな印象があるから、飛び上がって喜ぶ姿を見て、意外に思った人も多そうですね。写真を見る限り、反射神経もかなりいい（笑）。

滝川：あのリアクションは、自分の素が出ました。位置的に、みんなよ

り早く「TOKYO」のTが見えたので、動きだすのも一瞬早かったんでしょ（笑）。ふと見たら、小谷さんと太田選手が号泣していて、また感情がこみ上げてきて大泣きしちゃったんですね。ひとつの目標に向かって純粋に全力を尽くした、素晴らしいチームでした。

小谷：それにしても、滝川さんの「お・も・て・な・し」、やっぱり大反響ですね。リハーサル時から、私たちもみんな真似していたけれど（笑）。

滝川：太田くんが真似し始めたんですね（笑）。「おもてなし」という言葉は、初めから絶対に盛りこみたいと考えていたんです。ただ、言葉だけでは伝わりにくいということで、最終的にあのジェスチャーを考えてくれたのは、プレゼントレーナーのマーティン（・ニューマン氏）。初めはオーバーな気がして、ちょっと恥ずかしかった（笑）。でもIOCの方々には日本の心を伝えるために、一番効果的な方法を考えて何度も話し合った結果、あの形になりました。

（滝川クリステル・小谷実可子「滝川クリステル いま、一番気になる仕事」）

(15) ではア系指示詞の先行する文脈に厳密に同一物を指すような表現が現れていないが、「あのリアクション」は「飛び上がって喜ぶ」を指し、「あのジェスチャー」は「お・も・て・な・し」のジェスチャーを指している。ここでは東京オリンピックの誘致の話題が展開されており、ジェスチャーに対しては「写真を見る限り」のようにその様子もかなり鮮明に記憶されているため、話し手・聞き手両方に明確なイメージが喚起されていると考えられる。「アノ」は厳密に同一物を指す表現を言語文脈中に登場させずとも使用されており、この場合では話し手・聞き手ともに「リアクション」や「ジェスチャー」に対して具体的なイメージを持つことが出来る。このことから、「アノ」はその喚起されたイメージを指示していると考えられる。

(16) 滝川：批判もありますか。

林：結構あります。硫酸をかけられたパキスタン女性の写真について「グロテスクな写真は見たくない」とか。ないものを捏造したり、アート作品のように飾り立てているわけではなく、本当に現実には起きているありのままを、ただ撮っているだけなんです。

滝川：確かに、日本ではそうかも……。以前、アメリカの『TIME』ではタリバンに鼻を削がれた女性の顔が表紙になったことがありました。

林：覚えています。婚家の虐待から逃げ出して報復された、アフガニスタンの女性ですね。

滝川：あの表紙は世界中で話題になって、暴力刑を重罰化するなどの人権運動が活発になるきっかけになりました。

(滝川クリステル・林典子「滝川クリステル いま、一番気になる仕事」)

(16) でも、話題としている表紙についてお互いに知識の確認が行われ、「アメリカの『TIME』ではタリバンに鼻を削がれた女性の顔が表紙になった」という情報が共有されてからア系指示詞を使用していることから、「アノ」が具体的なイメージを指示していると考えられる。

3.2 物語文におけるア系指示詞

庵(2007)ではソ系指示詞の役割を「テキスト送信者が先行詞を定情報名詞句へのテキスト的意味の付与という観点からとらえていることを示すマーカーである」と記述しており、ソ系指示詞に代表される文脈指示用法は言語文脈に依存しているため先行詞を指示する。文脈指示用法が顕著に現れるのは物語文であるため、小説などの物語文で使われるア系指示詞はどのように表れ、どのような役割を持つのかについて検証する。まずは先行詞を持たない用例について見ていく。

(17) オグリキャップはその後も、生命力をその身に横溢させ、全力で走り、ファンを魅了しつづけるのである。稽古は順調に進んでいた。関東の競馬関係者のオグリキャップに対する評価は、タマモクロス以上に高いものになっていった。あのシンボリルドルフを育てた調教師・野平祐二は、愛する名馬と比較して、「走り方に弾力性があり、追ってクックッと伸びる動きなどはそっくり」と評し、かつて芦毛の天皇賞馬・メジロティターンを育てた調教師・尾形盛次は、同じ芦毛の両雄について「タマモにとって二千メートルでは距離不足。その点オグリには死角が見当たらない」とまで断じている。

(渡瀬夏彦「銀の夢オグリキャップに賭けた人々」)

(18) あのホリエモンこと堀江貴文氏がついにFXについて口を開いた。

(Yahoo! ブログ 2008)

(17) (18) ではアノで指示される名詞は聞き手(読み手)が知っている(と期待される)知識である。指示対象の名詞に対して説明は与えられていないが、「シンボリルドルフ」「ホリエモン」という固有名詞から聞き手はそれらがどのような事物・人

物であるか想像することが可能であり、「アノ」はそのイメージを指示していると考えられる。

一方で(19)のように先行詞を持つ用例はどうであるか。

(19) 半年の期間が与えられているのだから、その間、どこに下宿しようかと考えていたときに、**鎌倉山**が私の頭に浮んだ。歴史の研究者だから沢山の資料がある。私の手もとにあるものを皆ひっさげてゆくのは大変だ。そうだ、あの**鎌倉山**には服部さんが居る。あそこを図書館代りに使わせて貰おう。と思ったものである。

(奈良本辰也『服部之総・人と学問』)

(19)で指示される「鎌倉山」も(17)の「シンボリルドルフ」や(18)の「ホリエモン」と同様に固有名詞であるが、聞き手は「鎌倉山」に具体的なイメージを喚起することは難しい。しかしここでは独話的に発話されている文脈のため、「鎌倉山」は話し手が具体的にイメージしている「鎌倉山」である。

3.3 連体修飾文内に登場するア系指示詞

続いて連体修飾文に修飾されているア系指示詞について見ていく。従来指摘されていないが、ア系指示詞の用例は連体修飾文に修飾されることが珍しくない。

(20) 街路名の固有名詞は、すべからく二次的な固有名詞(人名、地名)であり、それゆえに、なんらかの意味を持っている。たとえば、リュ・サン＝タントワーヌといえ、これはどうしても**サン＝タントワーヌ(聖アントワーヌ)**のことを思い浮かべぬわけにはいかない。当然、砂漠で有象無象の誘惑にひたすら耐えているあの**聖人**のイメージ、あるいは、この聖人を描いたボッシュの絵画や、フロベールの戯曲のことが連鎖的に頭に浮かんでくる。

(鹿島茂『パサージュ論』)

(21) 一年生は連帯責任。いかなる理由があろうと、誰かが練習を休めばそのツケは同級生に廻ってくる。

「悪い。すまなかった」

「それよりもおまえが休んでる間、**土井先輩**が大変だったんだ」

「えッ!？」

事情を話したら「行って来い」と快く送り出してくれたあの**先輩**である。

「先輩がおまえの責任をかぶるハメになって…」

とるものもとりにあえず、土井先輩を訪ねた。

(高山義友希『忘れかけたら初心にかえる』)

(20) (21)において「聖人」「先輩」といった普通名詞を使用しているため、聞き手にとって対象を具体的にイメージすることは難しい。しかし、連体修飾文に修飾されることによって、名詞に「砂漠で有象無象の誘惑にひたすら耐えている」聖人、「事情を話したら「行って来い」と快く送り出してくれた」先輩といった情報が事前に与えられている。このようにアノ+普通名詞は連体修飾文に修飾されることが多く、名詞が「アノ」で指示される前に具体的なイメージを付け加えていると考えられる。一方で連体修飾文に修飾されるア系指示詞は 3.1 で見たような対談形式の談話においては現れない。これは、文脈の中で聞き手に対象物のイメージを喚起させやすいのと同時に、会話においては連体修飾文で一度に情報を提示することが対話者への負担になるため避けられており、情報の提供が順次的に行われていると推察される。

ここで (20) (21) をコ系指示詞・ソ系指示詞に置き換えてみる。

(22) 砂漠で有象無象の誘惑にひたすら耐えているこの/*その聖人のイメージ

(23) 事情を話したら「行って来い」と快く送り出してくれた?この/*その先輩

(22) ではコ系指示詞の使用が可能であるがソ系指示詞の使用が出来ず、(23)ではコ系指示詞を使用するとやや不自然になり、ソ系指示詞は使用出来ない。ソ系指示詞との置き換えが出来ず、ソ系指示詞は文脈指示用法であることから、このような物語文で使用されるア系指示詞は文脈指示ではないと考えられる。また (23) でコ系指示詞との置き換えがやや不自然となるのは、正保 (1981)、金水 (1999) らの指摘のように、現場指示用法の遠近の違いがコ系指示詞/ア系指示詞の選択に影響を与えており、その場に存在せず遠い記憶となっている「先輩」をコ系指示詞では指示しにくいためと考える。

(24) (25) は指示対象が先行する文脈中に存在せずアノ+名詞が連体修飾文に修飾されている用例である。

(24) テラスの脇の小部屋には時代別の模型が展示されていて、修道院の建築上の推移がひと目で把握できるようになっているが、これを見ると、私たちが今日「モン＝サン＝ミシェル」という言葉から思い浮かべるあの海上に屹立する僧院のイメージは十九世紀末になってはじめて現れたもので、それ以前はまだ岩山の上に慎ましい建物が載っただけであることが具体的に確認できる。

(石井 洋二郎「美の思索 生きられた時空への旅」)

(25) 消費者は、やがてトンネルのように商品棚が並ぶスーパーマーケットを車で通り抜けながら、欲しい商品を選ぶようになると二十年前に予測したある未来学者の言葉を、どれだけの人が記憶しているだろうか。当人自身忘れたがっているに違いないのだ。また、私たちは余暇時間を持て余し死ぬほど退屈するようになると予測したあの未来学者たちはどうしているだろう。彼らは、私がこうして本書を執筆している間にも新たな予測を下しながら、大金を稼いでいるのかもしれない。

(ロバート・M・マックマス/杉原素明訳
「80,000 点に学ぶ新製品開発マーケティング」)

(20) (21) と同様に、「私たちが今日「モン＝サン＝ミシェル」という言葉から思い浮かべる」「私たちは余暇時間を持て余し死ぬほど退屈するようになると予測した」といった具体的なイメージが連体修飾文によって喚起されることが表現として明示され、そのイメージを「アノ」が指示している。

ここで、(24) (25) をア系指示詞との比較のためコ系指示詞・ソ系指示詞へ置き換えてみる。

(26) 私達が今日「モン＝サン＝ミッシェル」という言葉から思い浮かべる この/ ?? その/ 海上に屹立する僧院のイメージ

(27) 私たちは余暇時間を持て余し死ぬほど退屈するようになると予測したこの/ ?? その/ 未来学者たちはどうしているだろう。

(26) (27) ではコ系指示詞は置き換え可能であるが、ソ系指示詞は不自然となる。このことから、ソ系指示詞にはア系指示詞のように付与された具体的なイメージを指示する機能はなく、ア系指示詞の観念指示用法はコ系指示詞の持つ現場指示性と同様の効果を持つと考えられる。話し手の頭の中でイメージした事象を指示している点からア系指示詞もコ系指示詞のように現場指示性を持つか、観念指示用法は現場指示用法から派生した用法であると仮定出来る。

また連体修飾文に修飾されるア系指示詞は (28) (29) のように削除可能である。

(28) 私達が今日「モン＝サン＝ミッシェル」という言葉から思い浮かべる ϕ 海上に屹立する僧院のイメージ

(29) 私たちは余暇時間を持て余し死ぬほど退屈するようになると予測した ϕ 未来

学者たちはどうしているだろう。

同じく連体修飾文に修飾されるア系指示詞であっても、(30a)のような用例では指示詞の削除は不自然であるが、(30b)のように連体修飾部に情報を足すことで、「アノ」を使用しない文例の許容度がやや上がることから、連体修飾文が具体的なイメージを喚起し、そのイメージを「アノ」が指示していると考えられる。

- (30) a. この間見たあの/? ϕ 映画面白かったなあ。
b. この間、太郎と一緒に見たあの/ ϕ 映画面白かったなあ。

連体修飾文に修飾されるということは、名詞句はすでに指示対象として同定されているため指示詞を必ず使用しなければいけないわけではなく、指示詞は削除出来る。しかし(30a)と(28)(29)を比較すると、連体修飾文であっても情報が少ない場合には指示詞を削除すると不自然となる。(30b)のように、名詞句により具体的な説明が与えられる場合には指示詞の削除が可能となる。

それでは、なぜ削除可能な指示詞をわざわざ取るのかという疑問が起きる。これはア系指示詞で指示される場合は前にその指示対象をイメージすることが出来る情報が与えられることが前提となっており、余剰的なア系指示詞は話し手の頭の中でより具体的なイメージが付与された指示対象であることを示しているため、削除可能なア系指示詞を使用することによってそのイメージを伝えることが出来る。(30a)が「アノ」を削除するとやや不自然となるのは、「アノ」を使用することによって、指示対象に言語文脈に依存しない何らかの情報が与えられていることを示しているためである。

コ系指示詞の現場指示性を「話し手の記憶の中に存在する指示対象であっても、具体的なイメージが喚起されていることによって、あたかも目の前に指示対象が存在するように指示が可能である」としたが、ア系指示詞でもこれと同様の効果をもたらしていると考えられる。しかしコ系指示詞も現場指示性によってア系指示詞と同様に具体的なイメージを付与することが出来るため、観念指示と現場指示性との違いはまだ明らかではない。

4. まとめ

ア系指示詞の観念指示用法は指示対象が言語文脈で明言されていない場合でも、指示対象の具体的なイメージを指示することが出来る。会話文・物語文で使用されるア系指示詞の用例では、話し手・聞き手がともに指示対象を具体的にイメージすることが可能であり、「アノ」はその喚起されたイメージを指示している。連体修飾文に修飾されることが観念指示用法のア系指示詞の特徴であることを指摘し、その場合の「アノ」は、削除可能な指示詞である場合がある。余剰的なア系指示詞を使用することに

よって、指示対象が話し手の頭の中でより具体的なイメージされていることを示した。これはコ系指示詞が現場指示性を持つために、現場に存在しない指示対象を眼前にあるかのように指示出来る性質と具体的なイメージを喚起させるという点で共通であり、ア系指示詞も現場指示性を持つ可能性がある。しかしア系指示詞の観念指示用法と現場指示用法の違いについては十分な検討にまで至っておらず、今後の課題とする。

【参考文献】

- 庵功雄(2007)『日本語におけるテキストの結束性の研究』、くろしお出版
- 神尾昭雄(1983)「名詞句の構造」、井上和子編『講座現代言語 1 日本語の基本構造』、pp.77-126、三省堂
- 金水敏(1999)「日本語の指示詞における直示用法と非直示用法の関係について」、『自然言語処理』6(4)、pp.67-91
- 金水敏・田窪行則(1992)「談話管理理論からみた日本語の指示詞」、金水敏・田窪行則編、『日本語研究資料集 指示詞』、pp123-149、ひつじ書房
- 正保勇(1981)「「コソア」の体系」、『国立国語研究所編 日本語教育指導参考書 8 日本語の指示詞』、pp.52-122、大蔵省印刷局
- 田窪行則(2002)「談話における名詞の使用」、野田尚史・益岡隆・志佐久間まゆみ、『日本語の文法 4 複文と談話』、pp193-216、岩波書店
- 田中望(1981)「「コソア」をめぐる諸問題」、『国立国語研究所編 日本語教育指導参考書 8 日本語の指示詞』、pp.1-50、大蔵省印刷局
- 西山佑司(2003)『日本語名詞句の意味論と語用論—指示的名詞句と非指示的名詞句—』、ひつじ書房
- 春木仁孝(1990)「現代フランス語の「周知の指示形容詞」について」、『言語文化研究』16、pp.77-96、大阪大学
- 春木仁孝(1991)「指示対象の性格からみた日本語の指示詞—アノを中心に—」、『言語文化研究』17、pp.93-111、大阪大学
- 堀口和吉(1990)「指示詞コ・ソ・アの表現」、『日本語学』9、pp59-70、明治書院
- 森山良行(1980)『基礎日本語 2—意味と使い方』、角川書店
- 吉本啓(1992)「日本語の指示詞コソアの体系」、金水敏・田窪行則編、『日本語研究資料集 指示詞』、pp105-122、ひつじ書房
- 劉羈(2015)『談話空間における文脈指示』、京都大学学術出版会

【用例出典】

KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」、中納言、<https://chunagon.ninjal.ac.jp>
ウェブゲート「滝川クリステル いま、一番気になる仕事」、<http://goethe.nikkei.co.jp/serialization/takigawa/131203/01.html>